

演芸部



レクリエーション大会と裏方の役割

演芸部長 矢板橋重雄

今年も演芸部、女性部の打合せが10月17日に開かれて、新たな事務局を中心に会議。出演者、来場者への裏方の役割分担を決めました。会長の交代、事務局の人事交代で、私自身三年目の役割に不安を抱えての当日でした。

早朝から意気込みが激しく、遅れて届いた弁当のせいもあって、打合せとは別行動の両部員。役割分担そっち除けでの自分のブロックの弁当運搬、受付にと興奮状態になる。

案の定「控え室がどこかわからん。どうなっているの!、師匠方からのお叱りです。今年度は今年の遣り方で、と事務局の言動、来場者の入場は始まっているので、会場案内役に立つ。

二年前の有能な司会者・飛田さん、ベテラン事務局の榎本さんの二人の指導で今年を迎えた私、いよいよのプログラム紹介へ。

府相の民踊クラブを、次の歌紹介して注意を受けてパニック状態へ。「済みません、ごめんなさい、のマイク。女性部の健康体操でも前日確かめた曲で無く、寸前に聞いた曲でも無いとの注意。お楽しみ歌謡ショーも、針の筵です。最後の蒲郡音頭もテープと思いきや、個人が唄う…と、知らぬは私ばかりでし



▲高齢者レクリエーション大会ゲスト出演者に花束

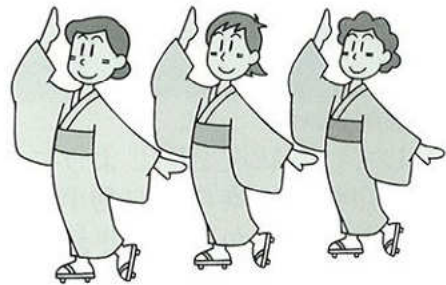
た。私も司会役三年目。慎重に謙虚に油断なくとの心積りで臨んだのに、大失態です。順調な進行に自惚れがあったんでしょう…関係者に心よりお詫び致します。

打合せの大切さ、大変さ、長年続いて来た事柄の大切さ、裏方同士の連絡の伝え方、役割の大事さを体験、経験出来た三年間でした。

関係各位からの御支援、心より感謝致します。

益々の大会発展を願っています。

ありがとう!



高齢者レクリエーション大会(11月9日)市民会館大ホール